



発行・登別市議会／編集・議会だより編集特別委員会／発行日・2009.5.1

6月に4地区で議会フォーラムを開催します！

- | | | | |
|-------------------|--------|-------------------|--------|
| ① 6月23日(火) 鷺別公民館 | 18:00～ | ② 6月24日(水) 市民会館 | 18:00～ |
| ③ 6月25日(木) カント・レラ | 14:00～ | ④ 6月26日(金) 婦人センター | 18:00～ |

第1回定例会

今期定例会は、去る2月25日から3月26日までの30日間の会期で開催しました。

小笠原市政にとって、初の予算編成。厳しい財政状況の中、どのような独自色で地域経済の活性化を図るのか注視された議会でした。

(1) 国民健康保険税について、一世帯平均4千701円の引き下げが決定。また、「ふるさとまちづくり応援寄附条例」が可決され、平成21年度より、全国からの寄附を募ることになりました。

(2) 旧自動車学校施設の一部を、国の交付金の活用で、市民活動センターを新設する事業費については、『具体的な利用計画、活用方法、運営等について関係団体と早急に協議すべき』との附帯意見をつけました。

(3) 市民団体からの「国民健康保険税の引き下げ(一世帯一律1万円)と減免制度の拡充を求める請願」については、『将来の財政運営が不安定なこと』などを理由に不採択としました。

(4) 意見書については、「雇用対策の充実・強化とセーフティネットの拡充を求める」など4件を可決しました。

高額療養費の一部未請求に関して

臨時会(平成21年2月12日)において調査特別委員会による調査報告書を提出し、HPで公開しています。

△主な内容▽

●調査方法

退職者を参考人招致、担当職員への文章照会、主幹職以上を参考人招致、保険者別事務内容の比較や各自治体の支払・請求実績などの調査を実施した。

●原因の特定

最終的に、問題発生の原因を一義に「当該担当職員の職務怠慢」であるとした上で、指揮監督管理職が部下の業務実態を掌握していなかったことなどが原因であると指摘。また、行財政改革が優先され、業務内容の把握や分析などを怠っていたことも原因であると特定した。

●主な再発防止策

- ① 職員に対する防止策として定期的な義務的研修などを実施するべき。
- ② 組織に対する防止策としてグループ制を含む業務体制の検証などをするべき。
- ③ 事務事業の抜本的見直しとして、ジョブノート作成の完全実施などをするべき。

●損失額の取り扱い

- ① 税金による負担をすべきではない。
- ② 極めて重大な責任がある当時の特別職はその負担額を先に明示するべき。
- ③ 担当部署職員は、その責任の度合いに応じた負担をするべき。
- ④ 現市長は、以上のことを踏まえて、速やかに市民に対応策を明示するべき。

行政報告を受け 2項目を決議

さらに議会は、市に対して「行政報告」を要請し第1回定例会中の3月26日に行政報告を受けました。議会は、『本件の対応については、市役所内部で十分に議論のうえ、全職員との合意形成をもとに進められること』『損失額の補てん及び再発防止の取組みについては、必要に応じて報告すること』と決議しました。